

## 第3章 文化財の概要

### 1. 指定等文化財の概要

令和3(2021)年4月現在で、市域には文化財保護法による国指定・登録22件、大阪府文化財保護条例による府指定9件、同大阪府古文化記念物等保存顕彰規則による府指定3件、高槻市文化財保護条例による市指定37件、合計71件の指定・登録文化財が所在します。

このうち有形文化財(建造物、美術工芸品)は社寺所有30件、法人・個人所有16件、市保有7件、国保有1件で、うち20件が博物館等による公的管理のもとにあります。民俗文化財は4件のうち無形が3件、記念物は国・府・市あわせて13件です。特に国指定の史跡は弥生時代から奈良時代にわたる5件6か所を数え、日本史の画期を語る貴重な地域といえます。

#### 高槻市域の指定・登録文化財一覧

種別		国		府	市	計	
		指定	登録	指定	指定		
有形文化財	建造物	1	5	1	11	18	
	美術 工芸	絵画	0	0	0	0	0
		彫刻	6	0	1	6	13
		工芸品	1	0	0	1	2
		書跡等	1	0	0	13	14
		歴史資料	0	0	0	1	1
		考古資料	2	0	4	0	6
無形文化財		0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形	0	0	0	1	1	
	無形	0	0	1	2	3	
記念物	遺跡	5	0	3	2	10	
	名勝地	1	0	1	0	2	
	動物、植物、 地質鉱物	0	0	1	0	1	
文化的景観		0	0	-	0	0	
伝統的建造物群		0	0	-	0	0	
選定保存技術		0	0	0	0	0	
計		17	5	12	37	71	

国指定・登録文化財

指定区分	名称	所在地	所有者	指定年月日	
国指定	国 宝	金銅 石川年足墓誌 附木櫃残闕銅釘付一括	大阪市	個人 <大阪歴史博物館寄託>	昭和 27(1952)年 3 月 29 日
	重要文化財	普門寺 方丈 附棟札	富田町	普門寺	昭和 52(1977)年 1 月 28 日
		木造 聖観音立像 2 軀	原	神峯山寺	昭和 25(1950)年 8 月 29 日
		木造 阿弥陀如来坐像	原	神峯山寺	昭和 25(1950)年 8 月 29 日
		木造 聖観音立像	奈良市	本山寺 <奈良国立博物館寄託>	昭和 25(1950)年 8 月 29 日
		木造 毘沙門天立像	原	本山寺	昭和 25(1950)年 8 月 29 日
		木造 千手観音坐像	浦堂本町	安岡寺	昭和 49(1974)年 6 月 8 日
		木造 菩薩坐像	昭和台町	慶瑞寺	平成元(1989)年 6 月 12 日
		安満宮山古墳出土品 銅鏡 5 面、鉄製品 9 点、 ガラス小玉一括附苧麻 布片 2 点	郡家新町	文化庁 <高槻市保管>	平成 12(2000)年 6 月 27 日
		和田家文書	堺市	個人 <堺市博物館寄託>	令和元(2019)年 7 月 23 日
	史 跡	今城塚古墳 附新池埴輪製作遺跡[追 加指定]	郡家新町 上土室	高槻市他	昭和 33(1958)年 2 月 18 日・ 平成 18(2006)年 1 月 26 日 [平成 3(1991)年 7 月 20 日]
		嶋上郡衙跡附寺跡	清福寺町他	高槻市他	昭和 46(1971)年 5 月 27 日
		阿武山古墳	奈佐原	奈佐原財産区	昭和 58(1983)年 8 月 30 日
		安満遺跡	八丁畷町	高槻市他 (追加指定日)	平成 5(1993)年 11 月 19 日 (平成 23(2011)年 2 月 7 日)
		鬮鷄山古墳	氷室町・上 土室	高槻市他	平成 14(2002)年 12 月 19 日
	名 勝	普門寺 庭園	富田町	普門寺 (追加指定日)	昭和 56(1981)年 8 月 28 日 (平成 12(2000)年 12 月 13 日)
	重要美術品	石造 灯籠	天神町	上宮天満宮	昭和 17(1942)年 5 月 30 日
国登録	有形文化財 (建造物)	大阪医科大学看護専門 学校校舎 (旧大阪高等医 学専門学校別館)	大学町	大阪医科薬科大学	平成 15(2003)年 7 月 17 日
		長谷川家住宅 主屋	東五百住町	個人	平成 16(2004)年 8 月 17 日
		古畑家住宅 主屋 他 7 棟	中畑	個人	平成 20(2008)年 7 月 23 日
		行信教校 講堂棟 他 1 棟	東五百住町	行信教校	平成 25(2013)年 6 月 21 日
		横山家住宅 主屋 他 4 棟	城北町	個人	平成 25(2013)年 12 月 24 日

## 府指定文化財

指定区分		名称	所在地	所有者・管理者	指定年月日
有形文化財	建造物	本山寺 石造 宝篋印塔	原	本山寺	昭和53(1978)年 8月 4日
	美術 工艺品	廣智寺 木造 多臂観世音菩薩立像	天神町	廣智寺	平成 5(1993)年11月24日
		教宗寺の石槽	芥川町	教宗寺	昭和49(1974)年 3月29日
		八阪神社の石槽	原	八阪神社	昭和49(1974)年 3月29日
		石塚古墳出土四霊三瑞鏡	郡家新町	個人 <高槻市寄託>	昭和56(1981)年 6月 1日
		郡家今城遺跡出土石器 附チップ・礫	郡家新町	高槻市	平成10(1998)年 2月 4日
無形民俗文化財	民俗	淀川三十石船船唄	大塚町	淀川三十石船唄 大塚保存会	平成14(2002)年 1月29日
史跡 (規則指定)	記念物	高槻城跡	城内町	高槻市他	昭和25(1950)年 5月 1日
		高山右近高槻天主教会堂跡	大手町	高槻商工会議所	昭和24(1949)年 5月 9日
	記念物	西国街道芥川一里塚	芥川町	芥川一里塚三宝 大荒神保存会	平成 5(1993)年 3月31日
名勝 (規則指定)	記念物	摂津峡	原・塚脇	高槻市他	昭和13(1938)年 5月11日
天然記念物 (規則指定)	記念物	出灰素盞鳴神社のカツラ	出 灰	素盞鳴神社	平成14(2002)年 1月29日

## 市指定文化財

指定区分		名称	所在地	所有者・管理者	指定年月日	
有形文化財	建造物	住居建築	旧笹井家住宅	城内町	高槻市	昭和47(1972)年 9月12日
		民間信仰	清福寺太子堂	清福寺町	高槻市	昭和63(1988)年 3月31日
		寺院建築	本照寺本堂	富田町	本照寺	平成 2(1990)年 4月13日
			本照寺山門 附石橋	富田町	本照寺	平成17(2005)年 6月14日
			本照寺東門	富田町	本照寺	平成17(2005)年 6月14日
			本照寺鐘楼	富田町	本照寺	平成17(2005)年 6月14日
		神社建築	永井神社社殿 附棟札4枚・高槻城絵馬1面	野見町	野見神社	平成17(2005)年 6月14日
			永井神社唐門	野見町	野見神社	平成17(2005)年 6月14日
			三輪神社社殿 附棟札2枚・奉加帳序1巻	富田町	三輪神社	平成17(2005)年 6月14日
			三輪神社絵馬所	富田町	三輪神社	平成17(2005)年 6月14日
	三輪神社末社春日社 附玉垣		富田町	三輪神社	平成17(2005)年 6月14日	
	美術 工艺品	彫刻	木造 大日如来坐像	田 能	田能自治会	昭和51(1976)年 6月 1日
			木造 不動明王立像	原	本山寺	平成10(1998)年10月28日

指定区分		名称	所在地	所有者・管理者	指定年月日		
有形文化財	美術工芸品	彫刻	木造 聖観音菩薩立像	田能	田能自治会	平成28(2016)年7月19日	
			木造 薬師如来坐像	山手町	山手町自治会	平成28(2016)年7月19日	
			木造 十一面観音菩薩立像	原	神峯山寺	令和2(2020)年8月3日	
			木造 地藏菩薩立像	原	神峯山寺	令和2(2020)年8月3日	
		古文書	三好長慶水論裁決状 (永禄貳年五月十九日)及び 三好家奉行衆連判裁許并手絵図 2 巻	城内町	郡家財産区 <高槻市寄託>	昭和58(1983)年11月 1日	
			芥川宿絵図	芥川町	個人	平成 3(1991)年 5月17日	
			本山寺文書 2巻	城内町	本山寺 <高槻市寄託>	昭和49(1974)年 3月30日	
			葉間家文書 3巻	城内町	個人 <高槻市寄託>	昭和49(1974)年 3月30日	
			天川水帳 2冊(高山帳)	城内町	個人 <高槻市寄託>	昭和49(1974)年 3月30日	
			富田村文禄検地帳 9冊	城内町	高槻市	昭和63(1988)年 3月31日	
			高槻村文禄検地帳 1冊	城内町	高槻市	昭和63(1988)年 3月31日	
			高槻村元和検地帳 1冊	城内町	高槻市	昭和63(1988)年 3月31日	
			富田村延宝検地帳 3冊	城内町	高槻市	昭和63(1988)年 3月31日	
			芥川村文禄検地帳 3冊	城内町	個人 <高槻市寄託>	平成21(2009)年 7月14日	
			神峯山寺文書	原	神峯山寺	平成25(2013)年 7月25日	
			安岡寺文書	城内町	安岡寺 <高槻市寄託>	平成25(2013)年 7月25日	
			歴史資料	永井神社伝来 永井直清関連資料	城内町	野見神社 <高槻市寄託>	平成24(2012)年 2月14日
			書跡	大般若経600巻 附応永年紀経櫃	城内町	春日神社 <高槻市寄託>	平成26(2014)年 8月 1日
美術工芸品	成合春日神社伝来馬具	成合北の町	春日神社	平成26(2014)年 8月 1日			
民俗文化財	有形民俗文化財	信仰	成合春日神社雨乞祭具一式	成合北の町	春日神社	昭和49(1974)年 3月30日	
	無形民俗文化財	風俗慣習	磐手杜神社の神輿渡御神事	安満磐手町	磐手杜神社 神輿渡御保存会	平成18(2006)年 2月21日	
			八阪神社の春祭歩射神事	原	八阪神社春季大祭 (大蛇祭)保存会	平成18(2006)年 2月21日	
記念物	史跡	生活活動に関する遺跡	下田部高札場	下田部町	下田部自治会	昭和51(1976)年 6月 1日	
		墳墓及び碑	伝能因法師墳附文塚、不老水、 花の井	古曽部町 別所本町	伊勢寺他	昭和60(1985)年 7月 1日	

・有形文化財（建造物）

指定建造物の多くは江戸時代以降の社寺建築です。寺内町から発展した歴史をもつ富田には、普門寺方丈（国重文）や本照寺本堂他3棟（市有形）、三輪神社本殿他2棟（市有形）など、高槻城下町には高槻藩永井家の藩祖・直清を祀る永井神社社殿・唐門（市有形）、城下の商家であった旧笹井家住宅（市指定）があります。また旧芥川宿に近い清福寺町には、近世大工組の信仰を集めた清福寺太子堂（市指定）が残り、旧笹井家住宅とともに本市が所有しています。

登録有形文化財には、近代の学校建築としてヴォーリズ設計による大阪医科歯科大学の旧看護専門学校校舎（大学町）（国登録）や僧侶養成学校である行信教校講堂（東五百住町）（国登録）、高槻城下の郷宿であった横山家住宅（城北町）（国登録）、山村景観に寄与する古畑家住宅（中畑）（国登録）などがあります。



清福寺太子堂(市指定文化財)



永井神社(野見神社の摂社、市指定文化財)

・有形文化財（美術工芸品）

彫刻では、平安時代創建とされる北部山間の山岳寺院に伝来する多くの平安仏があげられます。聖観音立像（神峯山寺蔵）、毘沙門天立像（本山寺蔵）、千手観音坐像（安岡寺蔵）などが著名です。後水尾上皇の崇敬篤かった富田慶瑞寺には、奈良時代の菩薩坐像が伝来します。

また明治の神仏分離令や廃仏毀釈を乗り越えて地元が守った大日如来坐像（田能自治会）や薬師如来坐像（山手町自治会）といった仏像のほか、氏子や宮座によって維持されてきた高槻藩永井家初代の永井直清所用の甲冑等資料、成合春日神社伝来の大般若経や鞍・鐙などがあります。

考古資料では、奈良時代の貴族石川年足の墓誌（国宝）、邪馬台国時代の安満宮山古墳出土の銅鏡5面など（国指定）、3万年前のキャンプ跡・郡家今城遺跡出土の石器群（府指定）などがあります。

書跡等では、芥川城主三好長慶の水論裁決状、高槻城主高山右近の禁制をはじめ、天正から文禄、元和にかけての市内各所の検地帳など、当時の領地支配にかかわる古文書類（いずれも市指定）が地域の歴史を語ります。



石川年足墓誌  
(個人蔵、国宝)



永井直清所用の甲冑  
(野見神社蔵、市指定文化財)



芥川・高槻・富田の文禄検地帳(いずれも市指定文化財)

## ・民俗文化財

有志団体や氏子・地域が支えてきた無形文化財として、江戸時代に伏見・大坂間を運航した船便の淀川三十石船船唄（府指定）、磐手杜神社の神輿渡御神事（安満の馬まつり・市指定）、八阪神社の春祭歩射神事（原の蛇まつり・同）があります。また祭事自体は失われましたが、有形文化財として雨乞祭具（成合春日神社・同）が残されています。



八阪神社の春祭歩射神事（市指定）



大塚保存会による淀川三十石船唄（府指定）

## ・記念物

国史跡では、弥生時代を通じて存続し居住域・生産域・墓域という集落の3要素が確認、保存されている安満遺跡、未盗掘の石槨2基を有する古墳時代前期の鬮鷄山古墳、大王墓の実態を目の当たりにする真の継体大王墓・後期の今城塚古墳とそこに埴輪を供給した新池埴輪製作遺跡、中臣鎌足の墓とされる終末期の阿武山古墳、さらに奈良時代の地方官衙として近畿で初めて確認された嶋上郡衙跡附寺跡があります。また三好長慶の居城として一時畿内政治の中心だった芥川山城跡の恒久保存に向けた取組を進めています。

府史跡では地元が維持管理する西国街道芥川一里塚（条例指定）、範囲を定めない高槻城・高山右近高槻天主教会堂跡（顕彰規則指定）があります。また市史跡として、高槻城下町の南に位置する下田部の高札場、永井直清が顕彰した平安歌人・能因法師の一連の遺跡があります。

名勝としては、江戸時代初期の枯山水庭園・普門寺庭園（国名勝）、摂津耶馬溪とも呼ばれ古くからの観光地である摂津峡（府規則指定）があります。

天然記念物では、市域を貫流して淀川に注ぐ芥川で、オオサンショウウオ（国特天）が確認されています。また北部山間の出灰素盞鳴神社には樹齢300年という株立ちのカツラ（府指定）があります。



史跡阿武山古墳



府史跡芥川一里塚

## 2. 未指定文化財の概要

現時点では指定・登録には至っていないものの、市域には多数の「守り・伝えたいもの」である未指定文化財1,132件があり、優れた景観や豊かな歴史的・文化的環境を形成するとともに、まちの魅力を高めています。

下表に掲げるように、過去に調査が行われた建造物や美術工芸品、埋蔵文化財等について一定の把握はされていますが、引き続き調査の充実が期待されます。

なお、鶴殿のヨシ原はヨシの利用や維持育成の態様から文化的景観もしくは「ふるさと文化財の森」、また市北部の山岳寺院のたたずまいや条里地割をしのぼせる南部の水田景観も文化的景観に該当する可能性があります。伝統的建造物群、選定保存技術については顕著な例に乏しく、見いだせていません。

### 過去の調査で把握している高槻市域の未指定文化財一覧

種別		計	
有形文化財	建造物	40	
	美術 工芸	絵画	6
		彫刻	16
		工芸品	27
		書跡等	123
		歴史資料	2
		考古資料	97
		石造物	565
無形文化財		0※	
民俗文化財	有形	0	
	無形	54	
記念物	遺跡	103	
	名勝地	1	
	動物、植物、地質鉱物	6	
文化的景観		0	
伝統的建造物群		0	
選定保存技術		0	
埋蔵文化財		92	
計		1,132	

※かつて国の無形文化財保持者「筑前琵琶」保持者が市内に在住しておられたが、死去に伴い解除されている。また伊勢大神楽保持団体の構成者が市内在住だが、活動範囲等から本カテゴリーには含めない。

## ・有形文化財（建造物）

地域の歴史文化を表徴する建造物として、まず日吉神社本殿（古曾部町）や八幡大神宮本殿が17世紀の建築と評価されています。また指定等文化財を有する本山寺や神峯山寺の諸堂、多くの参詣者を迎えた淀川縁の本澄寺（上牧）、西国街道に面した一乗寺は地域の景観を構成する象徴的存在です。能因法師と同時期に高槻藩主永井直清が顕彰した歌人・伊勢の亀趺碑（伊勢寺）も市域では他にありません。

高槻城下町には本行寺・光松寺・理安寺（大手町）が薨を連ねて「寺町」を形成し、武家屋敷に由来する郡家住宅（出丸町）のほか、町割りや当時の趣をしのばせる町家が点在しています（旧紺屋町、旧川之町、本町、出丸町など）。富田には、慶瑞寺や清蓮寺の諸堂・石塔のほか、江戸時代に繁栄した酒造業を受け継ぐ2軒の酒蔵が残ります。西国街道の旧芥川宿には久保家住宅をはじめとする町家が点在し、カフェなどとして再生され景観に寄与しているものも散見されます。淀川に面する唐崎や上牧には洪水に備えた段倉が残ります。

また明治初期に建設されたJR東海道本線の橋梁や煉瓦溝渠は今なお現役で、駅前を中心市街地には昭和初期の住宅が散在しています。さらに高槻～富田間の国道171号沿道の工場群は、市の発展を支えた産業景観ともいべきものです。



高槻城下町の「寺町」



武家屋敷由来の郡（こおり）家住宅

## ・有形文化財（美術工芸品）

まず彫刻では、指定等文化財を有する山岳寺院などに多くの仏像が伝来し、平安仏として大日如来坐像（本山寺蔵）や十一面観音菩薩立像（妙楽寺蔵）が特筆されます。工芸品では松永久秀寄進という硯（本山寺蔵）、江戸時代後期に開窯した古曾部焼の茶器や日用食器、淀川を往来した煮売り舟「くらわんか舟」にちなむ、くらわんか茶碗。さらに博物館では、市内諸家伝来品に加え、大名家伝来品を含む刀剣・武具の「川口コレクション」、伏見人形を俯瞰する国内有数の「奥村コレクション」、幕末の漢詩人・高槻藩士藤井竹外の遺品や古曾部焼・くらわんか茶碗などの「川崎コレクション」などを収蔵しています。

書跡としては旧村や寺社が伝える地方文書に加え、高槻藩士諸家に伝来する古文書があります。また西国街道などの旧街道筋や淀川の浜跡には、旅程や参詣道を示す道標・常夜燈などの石造物が残ります。考古資料では奈良時代の嶋上郡郡寺の塔礎石、各遺跡の時代を明らかにし価値を補完する土器や埴輪、石器、木製品などの出土品も重要です。



木造 大日如来坐像  
（本山寺蔵）



甲冑や刀剣などからなる「川口コレクション」



## ・民俗文化財

有形では水稻・畑作、山や川の生業、広く衣食住にかかわる民具に加え、富田の酒造や山間の寒天製造など伝統産業資料が特筆されます。地域の特色をいかした産業で、寒天は国外にも輸出されました。

また無形では、宮座の人々が年末に水源を祀る「岩神参り」(成合春日神社)、年始に無病息災を願い、薬師如来に餅を供える「お薬師さん」(山手町)、水利の安堵を受けた三好長慶の祠に詣でる「三好さん参り」(郡家水利組合)など、村々の行事が知られます。年始の初寅に本山寺や神峯山寺、安岡寺で修験者が行う護摩炊きや火渡り神事、さらに地域が行う「とんど焼き」や地藏盆も今では貴重な年中行事といえます。



寒天道具 (本市蔵)



山手町薬師堂の「お薬師さん」

## ・記念物

遺跡としては、国宝石川年足墓誌が出土した石川年足墓、重文の銅鏡などが出土した安満宮山古墳、古墳時代に三島地域を統べた王墓岡本山古墳・弁天山古墳、猪狩りの埴輪が並ぶ昼神車塚古墳などを擁する三島古墳群、さらに同時代史料に登場する梶原寺、<sup>しつだんじ</sup>悉檀寺、金龍寺などの寺院跡、山陽道大原駅推定地と神奈備山がまず挙げられます。市域では希少な中世山城・田能城は山間の旧街道を押さえる要地にあります。江戸時代の名所図会などが紹介する社寺や淀川縁の「浜」も重要です。高槻城下町から西国街道へ至る道筋である京口から、八丁(約900m)に渡り、永井氏が松並木を整備しました。これらは「八丁松原」と呼ばれ、今も当時の面影をしのばせています。

さらに都の貴族たちが豊かな農村をイメージした玉川の里や、『土佐日記』に登場する淀川の鶴殿のヨシ原、由緒ある磐手杜神社(安満磐手町)や稲荷神社(津ノ江町)など各地の社叢は、保全すべき風致を備えた存在といえます。緑環境の観点から選定された「高槻の古木」や、山間地のモリアオガエル、ホタル、ムカシトンボなども、大切な生態と言えるでしょう。



成合の金龍寺跡



歌枕「玉川の里」の松尾芭蕉歌碑

## ・歴史的なまちなみ

高槻城下町は、武士や町人の家屋敷や寺社などが立ち並び、江戸時代大いに繁栄しました。町割りや道路は当時をしのばせ、横山家住宅(国登録)など歴史ある町家が城下町の名残を伝えています。

富田では普門寺・本照寺・三輪神社などの寺社や、造酒屋のある一角をはじめ、町の随所に切妻造り、漆喰塗りの虫籠窓、格子窓などのある伝統的な様式の町家が残っています。